

# ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 看護学科

名 前 星野谷 優子

作成日 2023年9月28日

### 1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

#### 【担当科目】

老年看護援助論Ⅱ（必修：2学年）、老年看護学実習Ⅰ（必修：2学年）、老年看護学実習Ⅱ（必修：3学年）、統合実習（必修：4学年）、看護研究Ⅱ（必修：4学年）、大学生入門（必修：4学年）

#### 【委員会・係】

実習委員会、学科広報委員会

#### 【学年担当】

1学年（13期生）担当

学生が自ら考え、自ら行動し、しなやかに対応しつづけることができる専門職者となるよう、知識の定着および知識を実践に結び付ける教育活動を行っている。

広報委員会（特にオープンキャンパス担当）では大学の特徴を来場者に知っていただくための提案を行い、本学への入学希望者が増加するよう努めている。

また、研究活動を行い、研究成果を発表し社会への還元および社会貢献に努めている。

### 2. 理念（教育に対する考え方）

科学的根拠に基づいて看護を実践することが大切であるが、看護に正解はないためそのときの状況に応じ何が最善なのかを常に考え続けていく必要があり、一人で考え続けるよりも、ともに学ぶ仲間や教員に自分の考えを自分の言葉で伝えることで、考えはどんどん深まっていくと考える。最初は自分の考えに自信を持つことができず、他者に伝えることがとても難しいと感じるかも知れないが、自分の考えを他者に伝えることを繰り返していくうちに、少しずつ自信をもって伝えることができるようになっていく。学生は自ら向上したいという意志や自己実現の欲求を持っているため、教員はその欲求を充足することができるように関わっている必要があると考えている。

また、社会において「自立」し、他者と「共生」するためには自己表現力やコミュニケーション能力が必要不可欠であるため、本学の特徴でもあるLTD（Learning Through Discussion）などをおして学生がその力を身につけることができるように全力で関わっていきたいと考えている。

### 3. 方法（教育方法において大切にしていること）

学生が「まずは自分で考える」ことができるような関わりをすること、そして、学生が考えたことについて、なぜそのように考えたのかを丁寧に聴くことを大切にしている。また、学生が自分の持っている力に気付くことができるように声をかけることも大切にしている。また、臨地実習では実習指導者と協力・連携しながら学生が実習目標を達成できるように学生の個別性を踏まえた指導を行うことが大切であると考えている。学生は自分の知識や技術に自信を持つことができず、消極的になりがちであるが、教員の声のかけ方一つで学生は自分が成長していることに気付き、少しずつではあるが積極的に行動することができるようになる。学生の持っている力を引き出すために日々、学生とコミュニケーションを図りながら関わる大切であると考えている。

#### 4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

学生からのリアクションペーパーには、授業で話した実際の事例（臨地実習での出来事や、保健師で活動していたときの話など）を聞いて学生が率直に感じたことや考えたことなどが記載してあった。また、教科書に書いてあることだけを学ぶより、事例を通して考えたことで、どうしてそのようにする必要があるのであるのかという根拠がわかったといった記載もあった。

実習では「看護（師を目指すの）をやめようと思っていた」と言っていた4年生が、最後の統合実習で教員・指導者から手厚い指導を受けたことで、自分の持っている力に気づき「看護をやめるのをやめた」と笑顔で報告に来たということがあった。この学生は統合実習後、大学の実習室で友人と学習することが習慣になり、現在もたまたま学習の進捗状況を報告に来ることがあり、統合実習が終了してから4か月になるが今もなお交流がある。

#### 5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

##### 【短期目標】

- ・本学の「教学マネジメント・ハンドブック」を熟読し、本学の教育活動について理解をしたうえで、課題を見つける。
- ・担当している学生に面談のほかにもメール等で連絡し、困っていることなどが無いかを意図的に確認し、学修支援を行う。
- ・学会および研修会に参加し、研究の成果を発表する。

##### 【中期目標】

- ・本学の教育活動について見つけた課題を委員会や会議、報告書などで発信し、解決策を検討する。
- ・研究の成果を学会誌に投稿する。
- ・大学院博士課程への進学の計画を立てる。

\* 表紙を含め、全体として、3～10ページ程度とします。

##### 【添付資料】

\* TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。

（シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、すぐに確認できるようにしておきます。）

- ・シラバス
- ・講義後のリアクションペーパー
- ・オープンキャンパススケジュール、オープンキャンパス振り返り記録